

ごあいさつ



江別太小学校 校長 泉山 浩幸

昭和23年、地域の皆さんの教育への熱い思いにより開校した本校は、地域との強い絆のもと温かいご支援をいただき、地域とともに歩む学校として教育活動を進めてまいりました。平成27年7月には新校舎が完成し、それに合わせて開校70周年の記念行事も執り行いました。新生江別太小7年目の今年度は、新たに65名の新入生を迎え、19学級、児童数445名でスタートいたしました。

本校児童の気風は明るく素直で、校内では元気な挨拶が飛び交い、児童会活動などにも積極的に取り組んでおります。高学年は常に低学年のモデルとなることを意識して行動し、その姿を低学年が手本として追い求めることで、本校のよき伝統が脈々と受け継がれてきております。

めざす子ども像である『**あいさついっぱい・思いやりいっぱい・やる気いっぱい**の江別太小学校』を合言葉に、今年度の重点目標(下記)を踏まえ、これまでのよき伝統を継承しながら、一人一人の子どもよさや可能性を見出し、目標に向かって、笑顔でチャレンジできる教育活動を展開してまいります。それには、自分自身のよさを再発見させるなど、自己変容の自覚を促す振り返りや「認めて、ほめて、励まし、伸ばす」指導を基本姿勢としておりますので、ご家庭や地域の皆さんにおかれましても、本校の子供に、自信を促す声かけなどを行っていただくと幸いです。

なお、各ご家庭におきましては、引き続き今年度におきましても、新型コロナウイルス感染症対策に多大なご協力をいただいておりますことに重ねてお礼申し上げます。

子どもたちの健やかな成長のため、江別太小学校はこれからも家庭・地域と手を携えて前進いたしてまいりますので、変わらぬご支援・ご協力をよろしく願いいたします。

今年度の重点目標

『できた!』『わかった!』『やるぞ!』笑顔の輪

★知識・技能、思・判・表の育成

子供一人一人ができる喜び・わかる楽しさを味わいながら、達成感や満足感あふれる姿(表情もまた学力なり)

★主体的に学習に取り組む態度

自分のよさを発揮しながら、最後まで粘り強く取り組み、自己を高めていこうとする姿(自己肯定感や自己有用感)

★支持的風土に満ちた学級

思いやりをもって他者と関わり、互いのよさを見付けあったり、深め合ったりする姿(笑顔は次の笑顔を呼ぶ)